



はじめまして。今年の4月からカイチ予備校で非常勤講師をさせていただいている山崎末貴といいます。私は姉と兄の影響で、今福教室のアップル(現在のパスカルキッズ)や珠算部に通い、小学部、中学部、予備校を経て四條畷高校を卒業後、今は大阪市立大学 医学部 看護学科に通っています。今回は看護の道を選んだきっかけについてお話しようと思います。

一番大きなきっかけは、高校1年生の時に何気なく参加したベトナムボランティア活動でした。これは母校の卒業生の方がベトナムで白内障の手術を無償で行っている活動で、もし四條畷高校に通っていたり受験しようと思っている方がいたらぜひ参加してほしいです。

話は戻りますが、そこで私は衝撃を受けました。衛生面や医療体制に対しては大丈夫?と思うこ

COLUMN: 先生紹介 ▶ 山崎 末貴 (カイチ予備校)

何事も行動しなければ始まらない

ともありましたが、その一方で日本にはない温かさを感じました。例えば、手術室へ誘導の際にある生徒が患者さんに対して手荒になってしまったのを見て、先生が「その人が自分の家族でも同じことができるのか?」と怒っていたり、術後の検診の際には、患者さんが嬉しくて涙を流しているのを幸せそうな表情で見つめながら一緒に泣いている先生を目の当たりにしました。これは一人一人のことを大切に思っているからこそ得られる無常の喜びであり、私もそのように本当の意味で人のために働ける医療従事者になろうと決めました。単なる興味が目標に変わった瞬間でした。

このようにして私は将来を決めました。皆さんにも共通して言えることは何事も行動しなければ始まらないということです。私の場合は何気なく参加したことが人生を決める出来事になったので、皆さんも積極的に色々な事に挑戦して欲しいです。

また、これから高校・大学を選んだり、受験を控えている人がいると思いますが、進路を決める理由に「この活動に参加したい」だとか「これを学びたい」だとかある方が絶対的に良い方向に進むので、偏差値だけで決めるのではなく、自分を一度見つめ直して何がしたいのか考えても良いかもしれません。まだやりたい事がないのであれば、それを探しつつ、沢山勉強してできるだけ上位の学校を目指すべきだと思います。上位の学校に進めば、今後の進路の選択肢も増えますし、良い出会いにも恵まれます。小さな出来事でも人生は大きく変わるので、日々を大切に、「自分がどうしたいのか」「どうなりたいのか」を少しでも考え、行動に移してくれたら嬉しいです。

最後に、まだまだ経験の浅い未熟者ではありますが、少しでも皆さんの力になれたらいいなと思っていますので、これからも引き続きよろしくお祈りします。



岸田のちょっとイイ話

TEACHER'S VOICE 岸田 圭滋 (今福教室)

それぞれの夏を経験して

【模擬試験に向けて】

今までで一番勉強した夏だという中学3年生は少なくないと思います。夏期講習前に三者懇談を行い、個々の課題や目標を確認しました。それに向けて何をすべきなのかを決めて、夏期講習が始まりました。今福教室では、川西先生と岸田がタッグを組み、特進クラスと標準クラスの授業を行いました。私は数学・国語と標準クラスの社会を担当し、「いかに小さなミスを減らすか」ということをテーマに動きました。その中でも数学では、過去問の大問1と2の問題を宿題に出し、やり直しを必ずさせました。模擬試験は1問が4点(証明問題は8点)です。この大問2問分の意識を高め、全問正解にこだわりました。お盆休み前には「プレテスト」がありました。過去の模擬試験を解き、そのあとで解説授業を行いました。その日のうちにどこが間違っていたのかを確認することができました。長いお盆休みの中での課題が明確になったので、すくぞ有意義な時間でした。

【学校の宿題とのバランス】

夏期講習中も宿題は出ました。また、中3生はクラブの引退試合などと時期が重なり、思うように授業に参加できない人もいました。もちろん学校の宿題も出るわけですから、なかなか大変です。優先順位を考えて、なるべく7月末までに、単純作業のような宿題は済ませておくように指示しました。中学校によっては宿題の量はまちまちです。多い中学校に対しては、不完全燃焼を避け

るために塾の宿題を調節することもありました。夜は自習室を開放し、その日に行った授業内容を消化します。友達ノートやテキストを借りて黙々と頑張っている生徒も少なくありませんでした。

【やりきる大切さ】

中1・中2生は、夏期テキストを使用し、国・数・英を学習しました。ここで大切にしている思いがあります。「やりきる」ということです。わからない問題があれば、空白のままにしておくのではなく、質問することです。10時5分までの授業でしたので、居残ることはなかなかできません。そこで補習・質問日を設けていました。欠席者や遅刻者に対応する目的ですが、友達と一緒に参加し、質問を聞く生徒もいましたね。

小学生も同様、講習テキストを使用し、国・算を学習しました。それほど量も多くなく、ほどよい量です。国語は毎回漢字テストを行い、宿題の達成度を確認しました。宿題を忘れてしまった生徒は、居残り対応し、ここでも「やりきる」という姿勢は大切にしました。

【これからの過ごし方】

さて、長かった夏休みも終わり、2学期が始まりました。9月には、模擬試験の成績表が届きます。偏差値や点数ばかりを気にするのではなく、何ができていなかったかを見つめ直してください。中3生は、いよいよ学校の実力テスト、定期試験、五ツ木…と、テストに追いかける毎日

です。テスト当日か翌日までは、必ず模範解答を見て復習をしてください。付箋を貼って、質問の準備しておくのもいいでしょう。学校も始まり、生活のペースをつかむのに時間がかかる人もいますね。くれぐれも体調管理には、気をつけてください。

最後に、まだまだコロナの脅威は続きます。引き続き、体温測定、マスク着用、手指の消毒、空気清浄、机の消毒、適度な換気などの徹底に努めてまいります。

【我が家の夏休み】

緊急事態宣言&雨続きのダブルパンチ。我が家の2人の娘たちとの過ごし方に四苦八苦しました。外食を控え、家でご飯を食べる毎日。おかげで体重が3kgも増えました(笑)。小1の姉は、学校の宿題とひらがなの練習、教科書の音読をしていました。小学校で配布されたタブレットで、プログラミングのゲームを使いこなす姿を見て、感心しました。年少の妹は、元気が有り余っている分、体を動かせない毎日にイライラがたまり、ちょっぴり大変でした。晴れの日が1、2日あったので、近所の公園で思いっきり体を動かしていました。



◀寝ている間にタブレットで遊ば。



▼夏といえば、これですね。



◀近所の中華屋さんの麻婆麺。1Lの水は必要!?

生徒と保護者と先生の共育ニュースレター



【本 部】
城東区今福西2-1-8モデラトWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】
城東区今福西 2-9-20
TEL.06-6934-4662
【諸口教室】
鶴見区諸口 4-14-9-1F
TEL.06-6912-3984
【今津教室】
鶴見区今津南 1-6-2-1F
TEL.06-6167-9722
【高殿教室】
城東区成育 5-22-10-2F
TEL.06-6786-1008
【Eニグマ】
中央区谷町 9-4-5-3F
TEL.06-6777-1563

【今福第2教室】
城東区今福西 2-16-8
TEL.06-6931-2000
【関目教室】
城東区関目 4-6-17-2F・3F
TEL.06-6934-8117
【古市教室】
城東区古市 3-21-8
TEL.06-6931-0467
【カイチ予備校】
城東区今福西 1-10-17
TEL.06-6935-2220
【万緑会】
天王寺区上本町 6-9-10-3F
TEL.06-6772-5011



高木 秀章 (塾長)

ミライのジソンを作る かいち学童 関目教室で始まります

KAICHI GAKUDO

コロナの感染が拡大しています。夏休み中は各学校のクラブ活動の停止や、夏休み明けは学校の休校があらこちらで見られます。塾としても、入室前の手洗い・検温・入れ替え時の机・椅子の消毒などを徹底していますが、やはり決め手はマスクです。マスクをして、鼻まできちんと覆うこと。また、マスクは不織布マスクの着用を心がけてください。ご存じの方も多いと思いますが、ウレタンマスクや布マスクは飛沫防止効果が低いことが実験で実証されています。大変な時ですが、細心の注意を持って、やってみましょう。

関目教室でかいち学童を開設します。10月より説明会とプレオープン、来年4月より本格的なオープンとなります。「カイチが学童?」と思われるかもしれませんが、きっかけは働く奥さんを持つカイチの先生達との何気ない会話でした。今は保育所に預けているからいいけど、小学校に入ると学童に預けないといけない。「いきいき」だと見てもらう時間が短いし、地元の学童だと、習い事に通えない場合もある。塾の仕事をしているだけに、低学年時代の学習習慣が将来の学力を左右するのは分かっているけど、毎日となると時間と体力が…。などです。

そこで、地域の働くお母さん、お父さんにも同じような悩みはあるのではないかと。それならば、それを解決できる学童をカイチで作れないかということになりました。

かいち学童の特徴は大きく3つ。「学習習慣と学力の底力をつける」「カイチのキッズ分野を通塾時間0、特別価格で習える」「社会性を身につける様々なイベントに参加できる」ことです。

「学習習慣と学力の底力をつける」に関しては、学童到着後、毎回1時間学習を実施します。流れは下記の図の通りです。



▲1日1時間学習で学習習慣と学力の底力をつけます

到着後、能力開発トレーニングを実施。多少・大小・平面・空間・規則性・関係性などの認知能力のトレーニングを行い、学習の土台となる認知能力を育成します。このトレーニングを毎回続けるだけでも学習の理解力



▲社会性を育む様々なイベントに参加できます

や暗記力が大きく向上します。その後、学校の宿題に取り組み(カイチは学習塾です。お任せください)、10分間読書を行います。読む力は学力と直結する力です。そこで、かいち学童では毎回読書の時間を設け、読書習慣を身に付けさせます。教室には大きな本棚をご用意します。そして、最後に計算、漢字ドリルを学習時間がトータル1時間になるように実施します。たかが1時間。でも、1時間学習を習慣化することで、将来の学力に圧倒的な違いが生まれます。

2つ目の特徴として学童生はカイチのキッズ分野、そろばん・パスカルキッズ・トリーキングキッズを割引価格で受講できます。しかも学童の教室が3階ですから、通塾は2階に降りるだけ。慌てて、階段で転んだりしない限りは、安全で通塾時間もかかりません。

3つ目の特徴は「社会性を身につける様々なイベントに参加できる」ことです。この2年間はコロナの影響で中止になっていますが、カイチでは1年を通して様々なイベントがあります。春の遠足、夏のイングリッシュキャンプ、ビンゴ大会、秋はハロウィンパーティー、冬のクリスマス会。学童生はこれらのイベントに参加できます。

また、生きる力を得る学びをテーマとした「ジブンラボ」で、様々な社会活動や実験など、体験を通じて、深く考える力や現実を観る力、新しいものを創り出す力を育成したいと考えています。

仕事に育児。毎日、見てあげればいいのかは分かっているけど、手が回らない。そんなご家庭の「できたらいいな」に寄り添いカタチにする。カイチ学童はそんな学童を目指したいと考えています。子供達とご家庭、そして私達。共に手を取り成長できる。そんな共育の場になればいいなと考えています。

詳しいお知らせは9月中旬にご案内いたします。

Focus



CLASSROOM REPORT 教室レポート

カイチ予備校、4年目の進化

熊谷 真宏 (カイチ予備校)

今年の3月で開校4年目を迎えたカイチ予備校。昨年度の大学入試では3年目にして初めて国公立大の合格者を出す事が出来ました。その勢いはさらに加速し、今年はなんと大阪大学や神戸大学といった難関国立大に挑戦する生徒達も通ってくれています。通う生徒の層が上がるにつれ、現場で教えている我々には相当なプレッシャーがかかるのですが、それを乗り越えるだけの努力と工夫を積み重ねることで、年を追うごとに教室として大きく進化を続けてきました。

今年の夏期講習は、まさにそんな進化を大いに見せることができたように思います。その代表例が、高校2年生向けの講座として用意した「大学入試準備講座」です。大学入試において高2の夏がとて重要というの有名な話ですが、特に科目数の多い共通テストを必須で受験しなければならぬ国公立大志望の生徒の場合、高2の終了時点でどれだけ単元学習を理解・定着できているかによって入試結果が大きく左右されるため、夏のまとまった時間とどれだけ有効に使えるかがポイントとなります。高2と高3の夏休みを合わせた約60日間は、「受験の天王山」とも言われるほどです。それくらい重要な夏休み期間において生徒が効果的に学習を進められるように置いたのが今回のこの大学入試準備講座で、普段は高校3年生の講座を

担当している先生達が集結して指導に当たりました。

この講座がなぜ予備校の進化のシンボルと言えるのかというと、それは指導する講師陣の授業が他の予備校と比べても負けないほどの高いクオリティであり、そしてその授業を高3生だけでなく高2生に対しても提供できたという点にあります。カイチ予備校は生徒数86名(8月末現在)という規模なので、大手の予備校と比較すれば、建物の大きさや設備面、生徒数、講師陣の数など、あらゆる面で超えることができないものが存在するというのは紛れもない事実です。しかしながら、「講師陣の質」という点においては、どの予備校にも決して負けないという自信とプライドを持ってこれまで講師の採用に当たってきました。大手の予備校に限らず多くの塾でそうだと思いますが、指導する講師の「当たりハズレ」というものは少なからず存在します。特に大きな予備校の場合だと多数の講師を抱える必要があるため、講師ごとの質のバラツキというのは大きくなる傾向にあります。


カイチ予備校は他と比べて規模が小さいからこそ、そのメリットを最大限に発揮するために、徹底して講師のクオリティ管理にこだわってきました。例えば、難関大数学の講座を担当していただいた田中先生は、東京大学に毎年数多くの合格者を出しているあの有名な灘高校で教

鞭を執っていた先生です。現在はカイチ予備校だけでなくカイチグループの中高一貫校専門塾であるエニグマにおいても、京都大学や神戸大学といった超難関国公立大を目指す生徒達を指導しています。そんな超一流の先生をスカウトしてきたのが、化学と物理の講座を担当した対島先生です。大手企業のベネッセコーポレーションで模試のビッグデータ解析責任者を担当したり、今では多くの高校で行われている英語の技能検定GTECの作成を担当していたりと、とにかくものすごい経歴を持っているのですが、なんとあのamazonからのスカウトを蹴ってまでカイチに就職したという異色の先生です。他にも、東京の大手予備校で私立大学の最高峰である慶応大学や早稲田大学に合格者を出してきた英語担当の芦田先生、赤本の執筆を担当したり難関大医学部に多くの合格者を出してきた国語の太田先生など、おそらくこの規模の塾では決して揃えることができないであろうほどの優秀な講師陣がこの夏の講座を担当しました。そして秋からは数学のスペシャリストの先生がもう1名加わり、さらに講師陣の層が厚くなります。

予備校の進化はまだまだ止まりません!これからも生徒の皆さんの期待に応えることができるよう、プレずにこだわりを持ち続けて頑張っていきたいと思います。


カイチ予備校 スゴイ講師陣紹介

田中 秀彦 先生(数学)




京都大学理学部数学科卒、同大院修士課程修了。JICA(青年海外協力隊)の一員としてパプアニューギニアで勤務後、河合塾数学科講師として指導にあたる。2012年より、灘中学・高校で数学科の講師として勤務、東大理III合格者や数学オリンピックのメダリストなど多くの優秀な生徒を指導してきた。

芦田 正道 先生(英語)



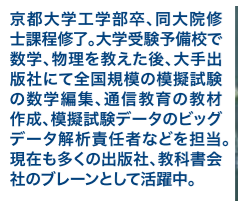
立教大学大学院修了。英語指導のエキスパートとして高校受験から大学受験まで幅広く指導し、指導キャリアは25年以上。京大・阪大・慶応・早稲田といった難関国公立大・私立大のクラスも数多く担当し、受講生から絶大な信頼を得ている。

太田 卓哉 先生(現代文・古文)



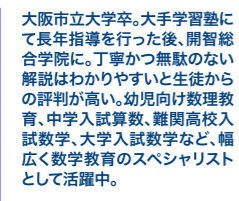
地方公務員として市政の中核で業務を行った後、京都大学で行政研究に携わる傍ら、大学進学・各種資格・公務員受験指導の講師として30年以上のキャリアを誇る。大学受験指導では、国語系科目・小論文・政経を中心に講義を行っている。

対島 広史 先生(物理・化学)



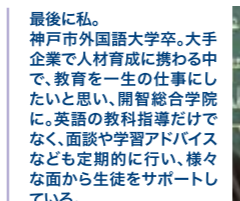
京都大学工学部卒、同大院修士課程修了。大学受験予備校で数学、物理を教えた後、大手出版社にて全国規模の模擬試験の数学編集、通信教育の教材作成、模擬試験データのビッグデータ解析責任者などを担当。現在も多くの出版社、教科書会社のプレーンとして活躍中。

福井 幸司 先生(数学・生物)



大阪市立大学卒。大手学習塾にて長年指導を行った後、開智総合学院に。丁寧かつ無駄のない解説はわかりやすいと生徒からの評判が高い。幼児向け数理解教育、中学入試算数、難関高校入試数学、大学入試数学など、幅広く数学教育のスペシャリストとして活躍中。

熊谷 真宏 先生(教室長 英語)



最後に私。神戸市外国語大学卒。大手企業で人材育成に携わる中で、教育を一生の仕事にしたいと思い、開智総合学院に。英語の教科指導だけでなく、面談や学習アドバイスなども定期的に行い、様々な面から生徒をサポートしている。

Education



KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

Planting seeds of joy 喜びの種をまく

Luigi Ilustre (Redwood Kids)

Redwood Kids is an English school childcare that started in Uehonmachi in April this year. I always want to give the best experience to my students. I am happy when I see them grow, learn and enjoy my classes at the same time. For Redwood Kids, it was our first Summer School. I was ecstatic and anxious at the same time. We came up with an idea to divide our summer classes into 3 themes: Under the Sea, Travel the World and Jungle Adventure. On top of that, at the end of every course, we celebrated Japanese Festivals. Every day we had different activities that is in line with the course's theme such as Seashell Photo frame, Animal Pinatas, Homemade Pizzas, Bow & Arrows, Jumanji (冒険), Treasure Hunting, Dinosaurs & Fossil Exploration, and Catching insects outside and inside the classroom. I hope I can tell you how fun was our Summer School. We all wore Jinbei and Yukatas at

the end of every course which made them feel that they went back to Japan after travelling outside Japan (We also had passports for boarding before travelling into a new location). We also did Japanese Festival games, Yatai, Nagashi Soumen, Kaki Koori and Wataame. The kids enjoyed every single activity because they engaged and they were able to experience the fun of traveling while inside Redwood Kids. I would like to commend my partner teachers who pour their hearts into every single thing we did to help the kids learn and have fun at the same time. Wesley did the designs and decorations while Mitsuki prepares for every minute details that made our everyday activities and program more than fun & interesting

These days, because of the pandemic, most of us are not able go out freely without worrying. However, through these kinds of spe-

cial events, we can ensure that our students learn while broadening their perspectives. The best part is when they appreciated the classes and activities we had. I always pour my heart whenever I do anything. I really wanted them to have unforgettable memories that will stick in their minds even when they grow up. As I always say, extraordinary results come from doing extra things aside from the ordinary. I am looking forward to the day that Redwood Kids will grow bigger and we want to share what we are doing now to a lot of students.

By the way, we are uploading our videos and pictures on our Instagram pages. To see how our classes are going, you can check our daily page: @redwoodkids.daily and for inquiries please follow our Instagram Business Page: @redwoodkidsjp. All smiles!



Redwood Kidsは、今年4月上本町でスタートした英語学童です。

私は常に子供達にさまざまな楽しい体験をさせてあげたいと思っています。生徒皆が一緒に学び成長しているのを感じると嬉しく思います。この夏Redwood Kidsでは初めてのサマースクールを開講しました。それに際し、楽しみと同時に不安な気持ちもありました。このサマースクールでは、海の中、世界旅行、ジャングルの冒険という3つのテーマを決めました。そしてサマースクールの最後には日本の夏祭りも行いました。サマースクールでは、貝殻のフォトフレーム、アニマルピニャータやピザを作ったり、弓矢や冒険、宝探し、恐竜と化石の探索を行ったり、教室内外での昆虫採集など3つのテーマに沿ったさまざまなアクティビティを毎日楽しく行いました。今年のサマースクールがいかに楽しかったかを皆さんにお伝えできればと思っ

ています。すべてのコースを旅行した後は、無事に日本へ帰ってきたことを感じさせるためにみんなで甚平と浴衣を着ました(別の国に行くためのパスポートも用意しました)。日本の夏祭りにあるゲームや屋台、流しそめん、かき氷、綿あめなども用意しました。このRedwood Kidsのサマースクールで、旅行の楽しさを体験したり、さまざまな活動を通して、子供達みんなが楽しんでくれたことと思います。子供達が学ぶ楽しむために一緒に頑張ってくれたパートナーの先生達にも感謝しています。ウェズリー先生がデザインと飾りつけを行い、みつぎ先生が通常の活動とプログラムがさらに面白くなるように細かいところまで考えて準備してくれました。

最近はバンデミックのためになかなか自由に出かけることができません。しかしながら、このような特別なイベントを通して、子供達は視野を広げ大いに学ぶことができたと思っ

ています。子供達がこの授業や活動を気に入ってくれば最高です。みんなが大人になっても心に残るような忘れられない思い出を作ってあげたかったので、私も愛情を注いで準備をしました。私がいつも言っているように、並外れた結果は普通以上のことを行うことで生まれます。私達が今行っている事をたくさんの子供達に伝え、Redwood Kidsがより大きく成長する日を楽しみにしています。

ちなみに、インスタグラムのページに動画と写真をアップしています。授業の進行状況を確認していただくにはインスタグラムの@redwoodkids.dailyのフォローをお願いいたします。お問い合わせは、インスタグラムの@redwoodkidsjpからお願いたします。みんなの笑顔!